

# 石山・芸術の森地域 石山部会 ニュース

これまで2つの連合会、4つの小学校を一体とした「石山・芸術の森地区検討委員会」として検討してきましたが、より議論を深めるために「部会制」を導入し、石山部会と芸術の森部会に分かれて検討しています。この検討委員会ニュースについても、各部会ごとに発行しています。

## 第5回石山部会 について

1月21日（木）午前9時30分から、石山会館（石山まちづくりセンター）で第5回石山部会を開催し、新設校の配置計画案等について検討を行いました。

また、検討にあたっては、学校施設を所管する教育委員会に加え、複合化が想定される、まちづくりセンター（市民まちづくり局区政課）・児童会館（子ども未来局子ども企画課）の担当職員から、施設配置案等の説明がありました。

## 地域の皆さんから 寄せられた意見 (報告)

前回（第4回）の部会以降、地域の皆さんから寄せられた意見について、事務局から2件の報告がありました。

- 学校施設の複合化を検討しているとのことだが、その際には、児童会館は学校の中に入れるべきと考える。石山小学校前の道路を挟んで石山児童会館があるが、交通事故が起こる可能性はゼロとは言えず、子どもの安全を考えれば、学校内にあることが望ましい。

(平成 27 年 12 月 電話)

- 石山南小学校よりも藤野寄りに住んでいるが、前回ニュースにあったような「藤の沢小学校」への指定変更までは考えていない。
- 新設校への通学は、石山通を通ることになるが、低学年の子どもを歩かせることに不安があり、可能であればバスで通学をさせたいと考えている。
- 定期券助成の対象地域ではないことは聞いているが、自己負担でもよいのでバスに乗せたいと考えており、そういうことが可能か検討してほしい。

(平成 28 年 1 月 電話)

### (事務局回答)

教育委員会では、通学距離が2kmを超える地域については、通学定期券を助成しています。

通学距離が2km未満の場合は、費用は自己負担となりますが、学校において、それぞれの児童が徒歩通学かバス通学かを把握する必要があり、また、緊急時や集団下校の際の対応等、学校と保護者の方との間で取り決めも必要となることから、個別に学校長にご相談をいただき許可を得ることで、バス通学することが可能となります。

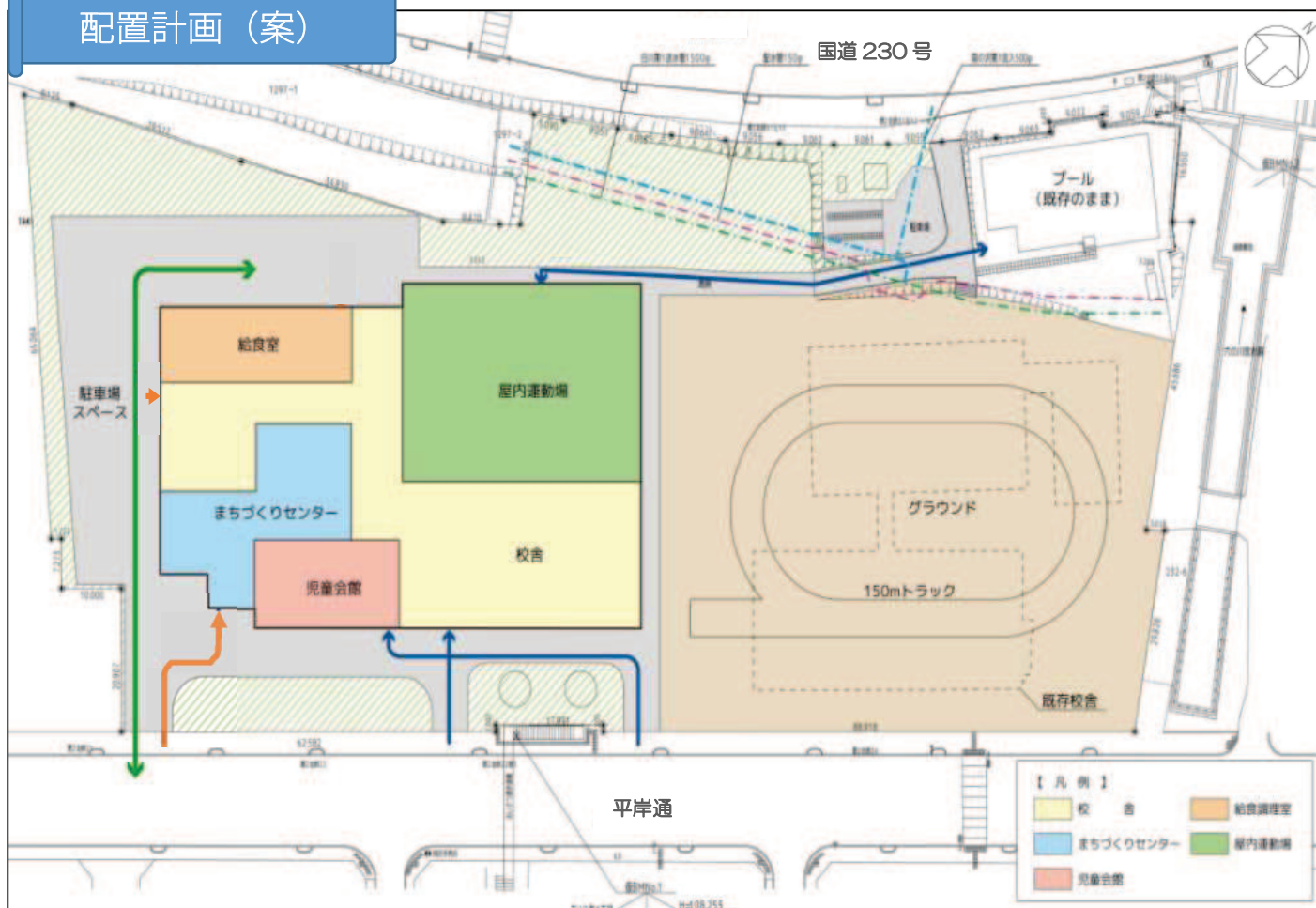
## 検討事項

第5回石山部会では、事務局及び各施設の担当職員から下記の説明の後、学校施設の配置や複合化等について検討しました。

### ◆配置計画案等について

※ 以下の配置計画案や平面図案については、石山部会等での検討を踏まえて今後変更となりますので、十分ご注意ください。

### 配置計画（案）



- 敷地南西側（現在のグラウンド側）に新校舎を配置
- 新校舎には石山児童会館と石山まちづくりセンターを併設
- 施設利用者の出入りは平岸通側を想定し、各施設の玄関を平岸通側に配置
- 児童動線（青色）と車両動線（緑色）を分離
- 近隣住宅への日影等に配慮
- 既存校舎は新校舎が完成後、解体してグラウンドを造成
- プールは引き続き使用



## 委員から寄せられた 意見など

### ◆施設の複合化に ついて

第5回石山部会では、委員から以下のようなご質問、ご意見がありました。

- 複合化で、子どもたちが幅広い世代の方々と交流可能になることや、スノーフェスティバル等の活動に直に接することで、「地域」というものを身近に感じられるというメリットがある。
- 教職員にとっても、複合化で「おらがまちの学校」という意識が高まり、より地域と一体化した学校運営が可能になると思う。地域の目線や感覚を意識・理解した教育活動ができるのではないか。
- 施設の中で、まちづくりセンターと学校の往来が自由になると、児童の安全・安心の面から不安がある。また、授業中に音がうるさくて学習環境が保障されないと困る。児童の安全・安心や、防音については、特に配慮した施設にしてほしい。
- 地域としては複合化すべきと考えている。「あいさつ通り」のように、石山は地域と学校が一体となって今日まで来た伝統がある。この伝統は今後も継続していくべきと思っている。
- 現在のまちづくりセンターは、昭和61年に地域の寄附金約1,600万円を集めて設置した。今回複合化しない場合、近い将来のまちづくりセンター建替えの際に、地域で同程度の費用負担が必要になる。将来に負担を残さず、次の代の方々がやりやすい環境を整えるのが我々の責任と考えている。その意味では複合化は望ましいと考える。
- 近所の人もわからないような時代だが、学校とまちづくりセンターの方たちが共存するというのは、保護者から見ても、子どもを預けていて安心感があり理想的と思う。
- 他の学校の話だが、例えば地域の運動会等の町内会行事で、町内会の方が「学校をお借りします」ということで学校にくるが、複合化すれば「借りる、借りない」ではなく、「一緒にやろう」ということで、より良い方向に向かっていけるのではないかと思う。
- セキュリティには一定程度配慮されていると感じるが、何が起きるかわからないご時世。「子どもの命を絶対に守る」という視点で、行政・学校・地域が開校までにしっかり検討することが必要と思う。

### ◆施設の配置や動 線等について

- 児童の出入口と、まちづくりセンターの出入口が同じ方向というのは望ましくないのではないか。まちづくりセンターの玄関は西側として、駐車スペースから出入りしやすくすべきではないか。
- 保護者としても、まちづくりセンター利用者の玄関と子どもの昇降口ははっきり分けるべきと思う。まちづくりセンターの玄関を西側に設けるのはいいと思う。
- まちづくりセンターの玄関に風除室を設け、町内会の回覧ボックスを置くなど、現在と同様の使い勝手になるように配慮してほしい。
- 駐車スペースの確保も重要だと思う。今回の配置案では、西側のスペースに相当の台数がとめられる見込みでありいいと思う。

- まちづくりセンターを利用する方の車の出入りについて心配がある。子どもたちにも注意を促すが、低学年の子もいるので、ミラーや注意喚起する標識をつけるなど、死角になって危険な個所は減らすようお願いしたい。
- 避難訓練や運動会等、グラウンドとの出入りはよく使う動線だと思うので、昇降口や体育館からまっすぐグラウンドに出入りできると望ましいのではないか。
- 「石山南小学校は玄関が国道に面していなくて安心感があるが、石山小学校は平岸通に面していて不安」との声を聞いたことがある。例えば、児童の昇降口をグラウンド側に面した配置にできないか。
- 体育館については、例えば、器具庫付近に扉をつけて、グラウンドへの動線を確保することも可能ではないか。
- 多目的ホールは、現在の石山会館のホールより少し狭いので、サロン部分を狭めて、もう少し面積を確保できないか。
- 多目的ホールでは、音楽や運動、歌ったりという活動も想定される。ホールは吹き抜けとのことだが、2階、3階に音が響かないか不安。学校の授業に迷惑がかからないような設計をお願いしたい。
- 多目的ホールは、まちづくりセンターと児童会館が共用することだが、そうすると、地域で今までと同じような利用ができなくなるのではないか。また、児童会館は中学生や高校生が週2回程度利用しているが、それらの利用ができなくなるのか。

#### (事務局回答)

多目的ホールについては、地域の方と児童会館で日程や時間等を調整させていただきたいと考えています。また、中高生の利用についても、現状の週2回がふさわしいのかも含め、きちんと事前に協議し、お互いにとっていい運用方法を探っていきたいと考えています。

- 1階のメモリアルスペースだが、石山は創立140年以上の歴史がある地域で、石山軟石等の歴史的な郷土資料も多い。このスペースにそういうものを陳列して後世に伝えていけたらいいと思う。
- 現状のメモリアルスペースでは、両小学校の記念品や郷土資料等をすべて展示することは難しいので、工夫しなければならないと思う。
- 複合化すると、まちづくりセンターの施設は市の財産となる。地域としては寄附等の財政的な負担がなくなるので、ありがたい面もあるが、市の施設になると、地域の意向や使い勝手に影響が出ないか。地域で主体的に活用できなければ意味がないと思う。

#### (事務局回答)

施設は市の管理となりますが、運用に関しては、これまでと使い勝手が変わらない形になるよう努めたいと考えています。また、学校や児童会館、まちづくりセンターの三者が、定期的に情報共有や意見交換をする会議を設けて意思疎通を図りながら、お互いの使い勝手がよくなるよう話し合いをしていきたいと考えています。

- 職員室が2階というのは、グラウンドや屋内運動場の管理がしやすくいいと思う。

- 2階の放送室は、緊急時の校内放送等を考えると、職員室や校長室の近くに配置すべきである。
- 保健室はインフルエンザ等の対応の際に、情報共有や連携が必要となるため、職員室や校長室と近い方が望ましい。
- 開放図書のことを考えると、図書室内に司書室が必要であり、新しい学校にも整備してほしい。
- まちづくりセンターの裏にプレハブを設置し、地域行事で使用する備品等を多数保管している。新設校の物品庫を借りることや、校地内に倉庫のようなものが設置可能か検討いただきたい。
- 児童会館については、児童会館の職員にも相談しながら、施設の中身をまとめていってほしい。

## 第5回の石山部会 における決定事項

このような検討から、第5回石山部会では以下の方針を確認しました。

新校舎は、児童の安全に十分配慮したうえで  
まちづくりセンターや児童会館との複合化を図る。

新校舎は現在のグラウンド側に建設する。

施設の教室配置等は今回の意見も踏まえ  
次回の部会で引き続き検討する。

## 第6回の石山部会 について

第6回の石山部会は、今回示された施設案について、出された意見を踏まえた修正案等について検討を行うこととし、2月中旬頃の開催を予定しています。

■ ご意見・ご質問は、下記の検討委員会事務局までお寄せ下さい ■

石山・芸術の森地域 学校規模適正化検討委員会 事務局  
札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課（学校規模適正化担当）  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V北2条ビル  
T E L 011-211-3836 / F A X 011-211-3837  
E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

※ この検討委員会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載予定です。  
<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>